

成果と課題及び指導改善のポイント

小学校国語（小学5年生）

成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)の出題のねらい

- ◇ ことわざの意味を知り、正しく使っている。
- ◇ 漢字辞典の使い方を理解している。
- ◇ 登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。
- ◆1 司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目して、考えをまとめている。
- ◆2 連用修飾語について理解している。
- ◆3 内容の中心を明確にし、自分の考えとその理由や具体的な事例を、2段落構成で書いている。

課題に対応した指導改善のポイント

司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目して、考えをまとめる設問、連用修飾語について理解する設問、内容の中心を明確にし、自分の考えとその理由や具体的な事例を、2段落構成で書く設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、次のような指導改善を行きましょう。

- ◆1 司会者、提案者、参加者などそれぞれの役割を理解させた上で、互いの意見の共通点や相違点に着目して、一つの結論を出したり、話し合われたことに対する自分の考えをまとめたりする活動を取り入れる。また、考えが相違するときには、それぞれの考えがどのようなことに基づいているのかについても確認する場面を設定する。
- ◆2 文章の内容を理解する場合だけでなく表現する場合にも、修飾語がどこに係るのかという修飾と被修飾の関係に気を付けて、文の構成を考える場面を設定する。また、主語と述語、修飾語と被修飾語の関係を確認し、文や文章を整える活動を取り入れる。
- ◆3 相手や目的を意識し、資料に示された情報を基に、伝えたいことを明確にして書く活動を取り入れる。その際、内容のまとまりで段落をつくったり、考えとそれを支える理由や事例といった段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える場面を設定する。



佐賀県教育センターWeb ページ「授業に役立つ実践研究」においても、授業改善に役立つコンテンツ等を発信しています。ぜひ、御活用ください。

